

道内未利用資源を利用する建材開発と評価システムの提案

—北海道エコマテリアル“do! Ecomat”システム構築に向けて—

共同研究機関名 衛生研究所、工業試験場、林産試験場、北海道大学

財団法人 下川町ふるさと開発振興公社、株式会社 アイ・セック

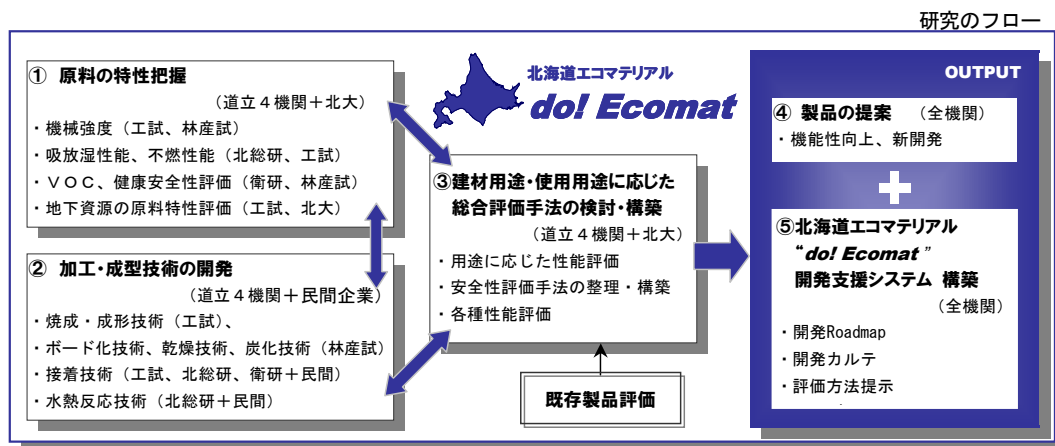
担当部科 環境科学部居住環境科、都市防災科、安全科学科、生産技術部技術材料開発科

研究期間 平成17～19年度

研究の目的

北海道で農林水産業などから排出される廃棄物、地下埋蔵物、建築解体時に生じる副産物・廃棄物などの未利用資源を建材等に製品化し、廃棄物抑制や地域ビジネスの創出に貢献することを目的としています。

道立の4試験研究機関が連携し、新製品開発のために、低廉、簡便な設備投資で地域生産を可能にする加工・成形技術を確立すると共に、総合評価手法の検討・構築を行います。



研究の概要

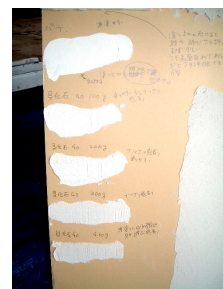
本研究で開発する製品は「北海道エコマテリアル“do! Ecomat”」と名付けられます。最初に北海道エコマテリアル開発の基本方向の検討、対象素材の選定、利用できる加工・成形技術の整理を行いました。現在は、具体的ないくつかの建材等について、評価方法も含めて試行を行っています。



- ・素材の特性を生かしつつ機能を付加
- ・数種の材料の特性を組み合わせ新たな機能を付加

試行例：内装用塗り壁材

塗りやすさの評価



活用方法・成果

今後は、引き続き試行を行いながら用途や使用条件に応じた評価方法を確立していきます。また、本研究で扱わなかった未利用資源についても活用できる支援システム（製品用途に応じた性能目標水準の提示と定量的評価手法）の構築を行います。